

# 新木路の 林

十三期(昭和三十六年卒) 蟻川千津子

平成三年三月三十周年記念の同期会を開いた折「次はぜひ一泊旅行を」との念願がかなない今年の六月五日、六日栃木県塩原方面への旅行を実施しました。(男性7名女性16名)卒業以来三十数年ぶりに会う仲間もいるのですが顔を見つめ話しをしてる内に高校時代の面影が浮かんで来るから不思議である。上野駅より一時間余り宇都宮駅に到着。ここでも又再会を喜ぶ風景が見られる。手配したレンタバスに乗り当地で高校教師の小森さんの名ガイドにより目的地向。バスの中で

は歌やおしゃべりにもうにぎやかな事。  
「水戸黄門の歌」などが出るなんて年輪を感じさせるものがある。一日目のコースは新緑が美しい八方ヶ原観光道路を通り壮大な県民の森、大間間台展望台、清流の小太郎ヶ淵の溪流、閑東一という回顧のつり橋等を見物して定刻通り五時、今夜の宿舎「もみじ荘」へ到着。旅の疲れはひと風呂浴びてと浮き浮きした気分ではありませんか。間違えたかしら?みんなは急にソワソワ。いいえ間違いは



ありません。はからずも混浴だったんです。お互いに背中を見ただけでしたが一寸した旅のハブニングでした。女性群はお色直しもそこそこ楽しい宴会の席へ。宴会はお料理よりもおしゃべりが何よりのごちそうという感じで一人ずつ近況報告をしい孫の話しに目じりが下がる人も何人かおりました。  
二次会はお決まりのカラオケへ。ソロあり、デュエットあり、合唱あり、果てはダンスにと、時間の経つのも忘れ泊まりの旅行の楽しさを満喫することができました。青い山脈や高校四年生?など青春時代の思い出の歌の数々。最後に校歌の大合唱でお開きとなった。部屋に戻ってからも夜の更けるのも忘れて思い出話に熱中した。  
翌日は日塩紅葉ラインを通り溪谷美の竜王峡、新緑の間に水を滝々と貯えた五十里湖、スケールの大きい川治ダムを見物して霧降高原へ。霧降高原大笹牧場はさすがに観光のメッカだけに大勢の観光客でこった返していた。

- 〈生徒〉
- 竹中栄子 昭和17年卒
  - 平成四年八月四日
  - 佐藤房子 昭和34年卒
  - 平成三年十一月二十日
  - 先生・会員の方々のご愛福をお祈り申し上げます。
- 〈訃報〉
- 鈴木桃太郎校長昭和二十一年四月、昭和二十四年五月
  - 尾原濱子先生 平成一年三月二十五日
  - 永田貞子先生 昭和六十二年七月四日
  - 尾本 清先生 平成三年一月十六日
  - 西村三郎校長昭和三十七年四月、昭和四十年三月
  - 平成三年一月二十八日